

注記事項

研究基盤出資経過勘定 (連結)

.連結財務諸表作成の基本となる重要な事項

1.連結の範囲に関する事項

特定関連会社は、(株) 鉱工業海洋生物利用技術研究センター、(株) イオン工学センター及び(株) 超高温材料研究センターの3社であり、これら3社を連結の範囲に含めております。

2.特定関連会社の事業年度等に関する事項

特定関連会社の決算日は、独立行政法人の決算日と同じであります。連結財務諸表の作成に当たっては、同決算日現在の財務諸表を使用しております。

3.会計処理基準に関する事項

(1)重要な資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品	独立行政法人 移動平均法による低価法
		特定関連会社 総平均法による原価法

有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的債券	償却原価法 (定額法)
----------	-------	-------------

(2)重要な減価償却資産の減価償却の方法

有形固定資産

主として定額法を採用しております。一部の特定関連会社では、定率法を採用しております。

建物	8~ 29年
構築物	10~ 29年
機械及び装置	9~ 12年
車両運搬具	6年
工具器具備品	2~ 15年

無形固定資産 (ソフトウェア)

社内における利用期間 (5年) に基づく定額法を採用しております。

(3)重要な引当金の計上基準

賞与引当金

役職員の賞与金の支払に備えて、賞与支給見込額の当期負担額を計上しております。

退職給付引当金

特定関連会社において職員の退職給付に備えるため、当該事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。

役員退職慰労引当金

特定関連会社において、役員退職金に関する内規に基づく期末慰労金支給の100%を計上しております。

(4)重要な外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、期末日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

(5)重要なリース取引の処理方法

リース料総額が300万円以上のファイナンス・リース取引については、通常の売買処理に係る方法に準じた会計処理によっております。

リース料総額が300万円未満のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

(6)その他財務諸表作成のための重要な事項

消費税等の会計処理	独立行政法人	税込方式
	特定関連会社	税抜方式

4. 特定関連会社の資産及び負債の評価に関する事項

全面時価評価法を採用しております。

5. 連結調整勘定の償却に関する事項

連結調整勘定については、独立行政法人会計基準第108条2項に基づき、発生会計年度において全額償却しております。

6. 利益処分項目等の取扱いに関する事項

連結剰余金計算書は連結会計年度中に確定した利益処分に基づいて作成されております。

7. 連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲は、手元現金及び随時引き出し可能な預金からなっております。

. 連結キャッシュフロー計算書に関する注記事項

資金の期末残高の貸借対照表科目別の内訳

現金及び預金	1,917,563,581 円
定期預金	644,500,000 円
資金期末残高	<u>1,273,063,581 円</u>

. 重要な債務負担行為

該当事項はありません。

. 重要な後発事象

1. 特定関連会社である(株)鉦工業海洋生物利用技術研究センターは、平成17年6月20日に開催された株主総会において当法人所有の同社株式の買い取りを決議しました。
2. 特定関連会社である(株)イオン工学センターは、平成16年11月24日付けで解散決議し、期末日現在清算中であります。